

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人 YC スタジオ
代表者名	木村悦子
申請事業名 主題	“ソーシャルファーム”の立ち上げ
申請事業名 副題	農食アート IT、就労弱者主体のチャレンジ
エリア／テーマ	【島根県】 障がい者就労・居場所支援
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 【分野】 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ④ 働くことが困難な人への支援
申請事業の概要	ソーシャルファームの立ち上げ(基盤づくり) 現行の福祉制度に乗っている障がい者(手帳保持者)は勿論のこと、手帳は持っていないが様々な事情で就労できない若者等(=就労弱者)と、就労していたがコロナ不況により失職した若者等(=健常協働者)と一緒に、農と食のアートと IT を通じ、彼らの個性の活かせる新しいビジネス、企業でも福祉就労でもない第三の道(=ソーシャルファーム)を立ち上げます。働くことが喜びになるよう、就労弱者が企画段階から参加してアイデアを出し、協働者と共に対等に仕事を創って行くことをミッションに、彼らの得意な IT と独創性を活かし、農と食に関わる一連仕事のラインを基礎固めをします。
事業実施地域	島根県
申請事業期間	2020 年 10 月～2021 年 9 月
申請助成額	4,800,000 円 【内訳】直接事業費 4,400,000 円、管理的経費 400,000 円

#### ■ 審査コメント

- ✓ ソーシャルファームの取り組みは興味深い。きっと日本版の運営の仕方や、事業経営の仕方があると思わ

れる。

- ✓ 先駆的な取り組みとしての役割もあり、コロナ禍の時代の地域の在り方、働き方、サポートの仕方など、大学などの研究者も入れたりして、新たな視点で、事業の展開を考えて進めてほしい。
- ✓ これまでの活動実績がさらに花開くことを期待したい。
- ✓ 今回の趣旨に合っている。20年の若者の居場所づくりや就労支援、地域との連携が評価できる。
- ✓ ゴールを見据えた内容になっている
- ✓ ソーシャルファームは素晴らしい構想だと感じた。
- ✓ やや具体的なプロセスが見えにくいですが、実績ある団体である点に期待したい。
- ✓ 大きな構想なので具体的なすすめ方をもう少しブレイクダウンする必要があるのではないか。
- ✓ こういう機会だからこそ、活動が継続できる仕組みを作ってほしい。